都道府県	施設名	第2期研修 1月25日(月) ～3月19日(金)	備考	研修の特徴(任意)
01北海道	北海道がんセンター	×		薬剤師外来あり。薬薬連携の勉強会も定期的開催しています
01北海道	旭川医科大学病院	条件付き〇	下記書類の提出が必要です。 ・流行性ウイルス疾患の抗体保有証明 ・薬剤師賠償責任保険への加入を示す書類	
01北海道	北海道大学病院	〇		
01北海道	札幌医科大学附属病院	×		
01北海道	市立函館病院	〇		
01北海道	社会医療法人製鉄記念室蘭病院	〇		
01北海道	医療法人　王子総合病院	×		
01北海道	社会医療法人 恵佑会札幌病院	×		領域別の担当薬剤師が入院外来通して患者に対応している
01北海道	函館五稜郭病院	〇		ゲノム医療のエキスパートパネルに薬剤科として正式に参画
01北海道	独立行政法人国立病院機構　北海道医療センター	×		
01北海道	社会医療法人北楡会　札幌北楡病院	×		
01北海道	医療法人東札幌病院	×		多様ながん種ならびにがん治療から緩和医療まで幅広い症例を経験可能です。
02青森県	弘前大学医学部附属病院	〇		ゲノム医療のエキスパートパネルに薬剤部として正式に参画し、コーディネーター育成に力を入れている
03岩手県	岩手県立中央病院	×		
03岩手県	岩手医科大学附属病院	〇		主に外来・入院患者への直接的な関わりを通じて、がん薬物療法における実践的な薬学的管理を学んでいただきます。
04宮城県	東北大学病院	条件付き〇	・東北大学病院研修生の感染症に対する抗体価の基準を原則として満たしている必要があります。 https://www.hosp.tohoku.ac.jp/organization/007.html ・受入人数は最大2人／期です。	講義研修は、東北広域次世代がんプロ養成プラン インテンシブコース内 東北大学ISTUコースから選択し受講していただきます。
04宮城県	国立病院機構　仙台医療センター	〇		移植が多く、積極的に薬剤師が介入している。また、薬剤師外来を導入 し、診療に寄与している。キャンサーボードや緩和ケアチームにも参加し 研修していただきます。保険調剤薬局との連携研修にも参加していただき ます。
04宮城県	東北医科薬科大学病院	〇		地域がん診療連携拠点病院として、入院・外来を通じて薬剤師ががん薬物療法に積極的に関与している。診察前面談、副作用評価、支持療法の提案、レジメン審査・管理、キャンサーボードへの参加などを経験し、多職種連携の中でがん薬物療法を支える薬剤師業務を学ぶことができる。
05秋田県	秋田大学医学部附属病院	〇		
05秋田県	JA秋田厚生連由利組合総合病院	〇		
05秋田県	JA秋田厚生連大曲厚生医療センター	×		体制充実加算を含むがん薬物療法における外来業務とirAE対策チームへの参画を検討しています。
06山形県	山形県立中央病院	〇		
06山形県	山形大学医学部附属病院	×		
06山形県	公立置賜総合病院	×		
06山形県	日本海総合病院	×		曝露対策としてCSTDの使用、及び抗がん薬調製ロボットを使用しています
07福島県	一般財団法人　竹田健康財団　竹田綜合病院	〇		がん薬物療法におけるPBPMや薬剤師外来、医療用アプリを用いた患者モニタリングが可能。
07福島県	福島労災病院	×		
07福島県	一般社団法人慈山会医学研究所付属坪井病院	×		
08茨城県	筑波大学附属病院	〇		ファーマシーステーションを病棟活動の拠点とし、チーム医療の推進に寄与しています。
08茨城県	株式会社日立製作所 日立総合病院	〇		病棟・薬剤師外来を含め、積極的に薬学的介入を行い、チーム医療に貢献しています。
08茨城県	茨城県立中央病院	〇		がんゲノム医療連携病院として、がん遺伝子パネル検査に薬剤師は深く関与している。外来化学療法部門にも力を入れており、診察前面談も行っている。
08茨城県	総合病院　土浦協同病院	〇		
08茨城県	小山記念病院	〇		
09栃木県	栃木県立がんセンター	×		がん専門病院であり、様々ながん種の症例を学べるとともに、医療職間の距離が近く多角的な視点でがん薬物療法を遂行できる。
10群馬県	群馬大学医学部附属病院	〇		
10群馬県	群馬県立がんセンター	×		チーム医療を重視し、他職種の講義や見学を多数取り入れ、チーム医療を担う薬剤師として、より優れた医療を患者に提供できるよう研修をしてもらっている。
11埼玉県	上尾中央総合病院	〇		
12千葉県	国立がん研究センター東病院	〇		希望によりエキスパートパネルの見学、近隣薬局との研修会等の参加も可能。講義研修は通常勤務時間外の開催となりますのでご了解下さい。
12千葉県	千葉大学医学部附属病院	×		
12千葉県	千葉県がんセンター	〇		●がん薬物療法中央管理に深く関与し、経口・注射共にレジメン整合性保持や支持療法の共通化を図っている。 ●注射がん薬物療法の処方鑑査・疑義照会を均一のレベルで効率良く行う体制が出来ている。 ●多職種が協働して外来患者のがん薬物療法を多角的に支援している。
13神奈川県	横浜市立大学附属病院	×		

13神奈川県	神奈川県立がんセンター	○		ゲノム医療に薬剤師が参画している
13神奈川県	聖マリアンナ医科大学病院	×		
13神奈川県	昭和医科大学横浜市北部病院	×		
13神奈川県	昭和大学藤が丘病院	×		
13神奈川県	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	○		
13神奈川県	日本医科大学武蔵小杉病院	×		
14東京都	公益財団法人がん研究会有明病院	○		日本医療薬学会認定がん専門薬剤師、がん指導薬剤師が多数在籍しており、薬剤師外来や入退院支援センター、病棟業務など臨床業務に力を入れている。また、薬剤部内に教育研修チームがあり、研修評価やスケジュール管理など行い、研修目的を達成できる体制が構築できている。
14東京都	聖路加国際病院	×		
14東京都	国立研究開発法人　国立がん研究センター中央病院	○		診療科単位で専任薬剤師を配置し、診療科との密な連携を基に薬剤管理指導を実施している
14東京都	日本医科大学付属病院	×		
14東京都	国家公務員共済組合連合会虎の門病院	○		
14東京都	日本大学医学部附属板橋病院	○		臓器横断的な研修と薬剤師外来の実践。キャンサーボードや小児がんに対しても経験していただきたいと思います
14東京都	東京医科大学病院	○		
14東京都	ＮＴＴ東日本関東病院	×		
14東京都	東京女子医科大学病院	×		
14東京都	国立病院機構 東京医療センター	○		
14東京都	東京慈恵会医科大学附属病院	×		
14東京都	東邦大学医療センター大森病院	○		外来化学療室では、患者の来院毎に面談することで継続的に薬学的管理を行なっています。連携充実加算に対応するため、レジメンシールの発行, ホームページ上にレジメンの詳細を掲示、CTCAEの重症度基準に基づいたトレーシングレポートを公開し、地域全体で安全かつ効果的ながん化学療法の実施に貢献しています。がん薬物療法体制充実加算に対応するため、医師の診察前に薬剤師外来を実施し、副作用の発現状況等を確認し、必要に応じて医師や看護師と共有及び支持薬の処方提案等を行なっています。
14東京都	国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター	×		
14東京都	東京都済生会中央病院	×		
14東京都	順天堂大学医学部附属順天堂医院	○		大学病院として幅広い疾患に対応可能。造血幹細胞移植や小児がんも希望に応じて対応可能です。
14東京都	日本医科大学多摩永山病院	○		外来では診察の同席などより診療に近い部分でのかかわりが可能
14東京都	日本赤十字社医療センター	○		多発性骨髄腫の患者が多い
14東京都	国家公務員共済組合連合会　立川病院	×		
15山梨県	山梨大学医学部附属病院	○		入院から外来まで、がん薬物療法の幅広い実践を経験できることが当施設の特徴です。レジメン管理や抗がん薬の調製、患者の治療効果・副作用の評価と薬学的介入、多職種によるチーム医療などを通じて、がん薬物療法に必要な知識・技能を実践的に習得できます。また、研修者の希望や関心のあるがん種・専門領域に応じて研修内容を柔軟に調整し、それぞれの目標に沿った研修機会を提供します。
16新潟県	新潟県立がんセンター新潟病院	×		
17長野県	信州大学医学部附属病院	○		幅広い診療科のがん薬物療法を学ぶことが出来ます。
17長野県	長野赤十字病院	○		
17長野県	地方独立行政法人長野市民病院	×		
17長野県	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院	条件付き○	必須検査項目 ①胸部レントゲン撮影結果（１年以内のもの） ②四抗体(麻疹，風疹，水痘，流行性耳下腺炎)	ゲノム医療のエキスパートパネルに薬剤部として正式に参画。薬剤師外来でのかかわりも行っている。
17長野県	JA長野厚生連北信総合病院	○		外来化学療法患者に対して診察前面談を行い、薬物療法体制充実加算を算定している。PBPMによるB型肝炎再活性化スクリーニング検査、irAEのスクリーニング検査を行い薬剤師によるモニタリングを強化している。
17長野県	JA長野厚生連佐久医療センター	○		
18富山県	富山大学附属病院	○		
18富山県	富山労災病院	条件付き○	血液がんについては、医師不足により現在入院・外来共に治療は行っておりません。担当薬剤師からの講義のみの研修となります。	
20福井県	福井大学医学部附属病院	×		
21静岡県	聖隷三方原病院	○		
21静岡県	静岡県立静岡がんセンター	条件付き○	所定のワクチン（麻疹、風疹等）接種が必要	
21静岡県	静岡県立総合病院	×		
21静岡県	社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院	×		
22岐阜県	岐阜大学医学部附属病院	○		適応外使用やレジメン管理に深く関与し、時に専門性の高い薬剤師の視点から使用や登録に疑義をかけるなど、責任を担って業務に取り組んでいる
22岐阜県	大垣市民病院	○		これまで15名の研修生を受け入れ、臨床研究などの指導も可能
22岐阜県	中部国際医療センター	○		がんゲノム医療のエキスパートパネルに薬剤師も参加している。外来化学療法の全例に薬剤師が介入している。
22岐阜県	社会医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院	○		
23愛知県	藤田医科大学病院	×		多種多様な診療科を擁しているため、様々な癌腫の対応が可能。
23愛知県	愛知県がんセンター	×		

23愛知県	愛知医科大学病院	×		
23愛知県	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	×		入院・外来ともに薬物療法を実施する部署を集約しており、腫瘍内科医師・看護師・薬剤師による多職種カンファレンスを毎日開催している
23愛知県	名古屋大学医学部附属病院	○		適応外使用やレジメン管理に深く関与し、時に専門性の高い薬剤師の視点から使用や登録に疑義をかけるなど、責任を担って業務に取り組んでいる
23愛知県	JA愛知厚生連 江南厚生病院	×		
23愛知県	一宮市立市民病院	○		
23愛知県	知多半島総合医療センター	○		
24三重県	三重大学医学部附属病院	条件付き○	・各種感染症の抗体検査結果の提出が必要です。 ・ 研修開始前に「事前オリエンテーション」をe-learningで受講し、「受講完了証明書」の提出が必要です。	・診療科カンファレンス、TumorBoard、エキスパートパネル等、多職種検討会への参加可能。 ・小児、AYA世代の妊孕性温存や緩和ケア、長期フォローアップに関する研修可能。 ・医師の診察前薬剤師外来の研修可能。
24三重県	伊勢赤十字病院	○		薬剤師外来（診察前面談）、外来化学療法室ラウンドを実施している
24三重県	ＪＡ三重厚生連鈴鹿中央総合病院	×		
24三重県	ＪＡ三重厚生連松阪中央総合病院	×		
24三重県	済生会松阪総合病院	○		
25滋賀県	滋賀医科大学医学部附属病院	条件付き○	下記の検査結果の提出が必要 ・胸部Ｘ線検査結果(研修開始の日からさかのぼって、１年以内のもの) ・結核罹患歴の有無。 ・インターフェロンγ遊離試験（IGRA）検査（研修終了の日からさかのぼって２年以内のもので、T-SPOT法又はQFT検査に限る。結果が陽性の場合は、専門医療機関を受診のうえ、診断書を提出するものとする。） ・麻疹（ワクチン接種歴、抗体価を提出する場合はEIA法IgGに限る。） ・風疹（ワクチン接種歴、抗体価を提出する場合はEIA法IgGに限る。） ・水痘（ワクチン接種歴、抗体価を提出する場合はEIA法IgGに限る。） ・流行性耳下腺炎（ワクチン接種歴、抗体価を提出する場合はEIA法IgGに限る。） ・Ｂ型肝炎ワクチンの接種又はHBs抗体（CLIA法）が陽性（10.0以上）の確認。ただし、Ｂ型肝炎ワクチンの１シリーズ目接種の終了後の抗体検査において抗体価が陰性の場合は、２シリーズ目の当該ワクチン接種に努めるものとする。	レジメン管理に深く関与し、時に専門性の高い薬剤師の視点から登録・管理を行っている
25滋賀県	滋賀県立総合病院	×		
25滋賀県	社会医療法人誠光会 淡海医療センター	○		
25滋賀県	彦根市立病院	○		
25滋賀県	長浜赤十字病院	×		レジメン管理に関与し、チーム医療のにおいても専門性の高い薬剤師として貢献している。また抗がん薬曝露対策にも力を入れている。
26京都府	京都大学医学部附属病院	○		調剤支援システムを用いた安全な調剤と調製業務。薬剤師外来での積極的な介入
26京都府	京都桂病院	×		がん化学療法委員会事務局としてレジメン審査・作成などレジメン管理に深く関与している。また臨床業務においては、入院から外来まで一環して副作用を確認し、医師・看護師など多職種と連携しながら、患者毎に適切な支持療法を積極的に提案している。
26京都府	国立病院機構　京都医療センター	×		
26京都府	独立行政法人国立病院機構　舞鶴医療センター	○		
27兵庫県	兵庫医科大学病院	×		
27兵庫県	神戸大学医学部附属病院	条件付き○	・研修開始日の1ヶ月前までに「実習・研修願書」、「誓約書」、「ワクチン接種または抗体保有証明書」、「健康診断書」、「免許証（写）」、「薬剤師賠償責任保険証書（写）」の提出が必要です。 ・抗体価について、当院の抗体価要件（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、HB)を満たさない場合は臨床実習できません。 ・研修期間中、新型コロナウイルス感染症の発症、ウイルス陽性、疑わしき症状がある場合には一定期間来院できません。	・希少がんを含むあらゆるがん種の薬物療法について研鑽を積むことができる。 ・薬剤師が院内での副作用およびレジメン管理に主体的に関与している。 ・地域連携にも積極的に取り組んでいる。
27兵庫県	神戸市立医療センター中央市民病院	×		抗がん剤ロボット調製や薬剤師外来（診察前面談）や外来化学療法センターでのラウンド、チーム医療、保険薬局との連携など幅広くかかわることができる
27兵庫県	公益財団法人 甲南会 甲南医療センター	×		
28奈良県	市立奈良病院	○		・診察前薬剤師面談等にて、薬剤師から多職種へ積極的な提案を実施 ・近隣の保険薬局と服薬情報提供書を通じて、地域連携の強化に取り組んでいる。 ・緩和ケアカンファレンスに参加。入院中のケア・退院時の調整等を実施。 ・薬剤師が主体的にレジメン管理に関与。
29和歌山県	和歌山県立医科大学附属病院	○		
29和歌山県	日本赤十字社和歌山医療センター	条件付き○	・研修は同一県内に勤務する薬剤師を優先します。 ・研修開始前に各種感染症の抗体検査結果の提出が必要です。	
29和歌山県	和歌山労災病院	×		

30大阪府	堺市立総合医療センター	○		当院では、外来化学療法センターを中心に、がん専門薬剤師・認定薬剤師をはじめとする専門スタッフによるOJTを通じて実践的な研修を行っています。院内多職種連携、病棟薬剤師との連携、レジメン管理など、日常診療で求められる薬剤師の役割を学び、自施設で活かせる実践力の習得を目指します。
30大阪府	大阪大学医学部附属病院	○		
30大阪府	大阪国際がんセンター	○		がん専門病院のため、多岐に渡るがん種についての研修が可能であり、がんにおける専門性を高めることが出来る。
30大阪府	近畿大学病院	×		
30大阪府	大阪ろうさい病院	×		診察前面談を積極的に取り組んでいます。ゲノム医療やAYA、緩和ケアなどのチーム医療に参加しています。
30大阪府	大阪公立大学医学部附属病院	○		ゲノム医療のエキスパートパネルに薬剤部も参加可能な状況である
30大阪府	大阪医科薬科大学病院	条件付き○	受け入れに際して、本院指定の感染症証明の事前提出による申請・承認が必要。 研修前に本学HPに掲載している事前課題「医療安全」「感染対策」を実施すること。	チーム医療の実施、抗がん剤調製ロボット使用
30大阪府	泉大津急性期メディカルセンター	×		
該当なし				
30大阪府	淀川キリスト教病院	○		他学会からの研修も受け入れています。そのため施設間の情報共有が容易に行うことが可能です。研修内容については実務に合わせた研修内容とさせていただいております。
30大阪府	関西電力病院	○		病棟を含め、多職種間の連携が盛んな施設です。外来化学療法室では薬剤師外来を開始し、安全かつ安心ながん化学療法の体制を強化しています。
30大阪府	国立病院機構　大阪医療センター	×		
該当なし	社会医療法人大阪国際メディカル＆サイエンスセンター 大阪けいさつ病院	○		薬剤師外来を開設しており、入院から外来まで継続して薬学的管理を行っています。また、2026年度から創設された腫瘍内科において、チーム医療の一員として他職種と協働し、がん薬物療法を支援しています。
30大阪府	医療法人藤井会石切生喜病院	×		
30大阪府	市立吹田市民病院	×		乳腺外科を中心とした薬剤師外来を実施。血液内科領域の化学療法や移植領域にも関わることができる。近隣薬局との合同勉強会あり。
30大阪府	市立豊中病院	×		
30大阪府	社会医療法人愛仁会　高槻病院	×		薬剤師外来で、当日、化学療法実施予定のすべての患者に対応して、主治医に処方提案を行っている
30大阪府	大阪府済生会　中津病院	×		都市型総合病院として、血液がん多発性骨髄腫症例の多い病院
30大阪府	独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター	○		多職種で構成されたがん薬物療法サポートチームがあり、診療科横断的な薬学的介入に取り組んでいる。
30大阪府	独立行政法人国立病院機構大阪刀根山医療センター	×		
30大阪府	市立東大阪医療センター	○		レジメン管理など化学療法推進委員会を通じて、薬剤師が安心安全な薬物治療に貢献している
31鳥取県	鳥取大学医学部附属病院	○		薬剤師外来にも対応しており、適応外使用時のレジメン管理にも深く関与している。
32島根県	島根大学医学部附属病院	○		抗がん薬曝露防止対策の一環として、原則、すべての抗がん薬の調製に閉鎖式接続器具を用いている。レジメン管理に深く関与しており、専門性の高い薬剤師の視点からレジメン審査を行うなど、責任を担って業務に取り組んでいる。
32島根県	国立病院機構浜田医療センター	×		
33岡山県	岡山大学病院	条件付き○	・肝炎や麻疹，風疹など抗体価を確認し，必要に応じてワクチンの接種を依頼することがあります。詳細は希望者に説明します。 ・研修にあたり、病院と研修者の間で「研修契約書」および「覚書」を交わす必要があります。	
33岡山県	倉敷中央病院	○		
33岡山県	岡山赤十字病院	×		
33岡山県	倉敷成人病センター	○		代行オーダー権限を駆使した診察前面談方式の薬剤師外来で効率的な外来チーム医療を体験できる
33岡山県	岡山市立市民病院	○		
34広島県	広島大学病院	○		広島大学病院薬剤部は、外来がん化学療法患者に対する連携文書提供や入退院センターを通じた薬薬連携などに取り組んでいます。また、「がんゲノム医療拠点病院」であり、薬剤師は、治療候補となる臨床試験・治験についての調査やエキスパートパネルへの参加を通じてがんゲノム医療へ関わっております。
34広島県	広島市立広島市民病院	×		PBPM等を行い、積極的な業務を行なっております。
34広島県	JA広島総合病院	○		院外処方箋を発行していないため、内服抗がん剤だけの治療にも院内の薬剤師が関わる事ができる。 ゲノム医療にも薬剤部が積極的に参加している。
35徳島県	徳島大学病院	○		
35徳島県	徳島県立中央病院	×		
35徳島県	徳島赤十字病院	○		能動的にがん薬物療法にかかわることができる薬剤師を養成するため、薬剤師外来での活動を中心に研修プログラムを設定している。
36香川県	香川県立中央病院	×		
37愛媛県	四国がんセンター	×		
37愛媛県	愛媛大学医学部附属病院	○		

37愛媛県	愛媛県立中央病院	○		
38高知県	高知医療センター	○		レジメン管理に深く関与し、時に専門性の高い薬剤師の視点から使用や登録に疑義をかけるなど、責任を担って業務に取り組んでいる
38高知県	高知赤十字病院	×		
38高知県	高知大学医学部附属病院	○		ゲノム医療のエキスパートパネルに薬剤部として正式に参画している。また適応外使用やレジメン管理に深く関与し、時に専門性の高い薬剤師の視点から使用や登録に疑義をかけるなど、責任を担って業務に取り組んでいる。
39山口県	国立病院機構 山口宇部医療センター	条件付き○	当院は診療の特性上、呼吸器悪性腫瘍以外は症例がほとんどありません。 上記についてご理解の上で希望される方のみ○とさせて頂きます。	
39山口県	国立病院機構　岩国医療センター	×		
40福岡県	九州大学病院	×		
40福岡県	久留米大学病院	○		大学病院ならではの多種多様ながん種について学べる
40福岡県	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	×		
40福岡県	独立行政法人地域医療機能推進機構　九州病院	×		
40福岡県	医療法人徳洲会　福岡徳洲会病院	×		
40福岡県	産業医科大学病院	○		
41佐賀県	佐賀大学医学部附属病院	条件付き○	・研修開始前に健康診断書および各種感染症の抗体検査結果等の提出が必要です。 ・研修にあたり、病院と研修者の間で「研修契約書」を交わす必要があります。 ・当院感染対策では、当院の職員と同様の行動規制を遵守することを強く要請します。	がんゲノム医療連携病院に指定されており、エキスパートパネルに参加可能です。
41佐賀県	佐賀県医療センター好生館	○		
42長崎県	国立病院機構　長崎医療センター	×		
42長崎県	長崎大学病院	○		各種診療科の協力のもと、様々な癌腫の治療に関する研修講義を行い、また、抗がん剤 治療だけでなく、各種がん治療の見学を取り入れた研修を行っている。 がん診療セン ターと連携し、適応外使用やレジメン管理に深く関与し、時に専門性の高い薬剤師の視 点から使用や登録に疑義をかけるなど、責任を担って業務に取り組んでいる。
43大分県	大分大学医学部附属病院	○		適応外使用やレジメン管理に深く関与し、時に専門性の高い薬剤師の視点から使用や登録に疑義をかけるなど、責任を担って業務に取り組んでいる
43大分県	中津市立中津市民病院	条件付き○	研修開始前に、当院書式の各種感染症の抗体検査結果（ワクチン接種歴）の提出をお願いしています。	中規模病院ですが、ゲノム医療連携病院の指定を受けています。またロボット支援手術も開始し、がん医療を地域の中で提供をしています。レジメン管理や化学療法委員会事務局を薬剤科が主導で行っています。また、薬剤部門以外に、他職種などを交えた研修での講義等を行うことで、チームや地域内での薬剤師の役割を実践しながら学ぶことができます。薬剤師の診察前面談や化学療法室での連携充実加算への取りくみも多く行っています。
44熊本県	熊本市立熊本市民病院	○		
44熊本県	熊本大学病院	×		
44熊本県	国立病院機構　熊本医療センター	×		
45宮崎県	宮崎大学医学部附属病院	条件付き○	麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎については、「抗体検査・ワクチン接種歴確認表」を提出することが望ましい	当院では薬剤師が支持療法も含めたレジメンを作成しており、レジメン審査・登録・管理を薬剤師主体で実施し、がん薬物療法において、薬剤師が重要な責任を担っている。研修ではその点も学ぶことができる。
45宮崎県	宮崎県立宮崎病院	×		
46鹿児島県	鹿児島大学病院	条件付き○	1名○でお願いいたします。	
46鹿児島県	公益社団法人昭和会　いまきいれ総合病院	○		多様ながん種でのレジメン管理、多職種連携による治療への関わりにおいて、薬剤師の専門性を活かして活動している。
46鹿児島県	鹿児島厚生連病院	○		外来・入院の内服から注射薬に至るまですべての患者のがん薬物療法にかかわっています。各種カンファレンス等にも積極的に参加しています。
46鹿児島県	鹿児島市立病院	○		
46鹿児島県	今村総合病院	○		
46鹿児島県	公益社団法人鹿児島共済会南風病院	○		がん薬剤師外来を１５年以上行っています。
46鹿児島県	霧島市立医師会医療センター	○		地方におけるがん医療について広く学ぶことができます
47沖縄県	琉球大学病院	○		